

踏み出そう一歩



府中市議会議員

真田 さなだ みつお

試練の時代における自治体病院経営を学ぶ

府中市内 3 病院の役割と 持続可能な医療体制を考える



令和7年10月8日、府中市議会第一委員会室において、城西大学教授・伊関友伸氏を講師に迎え、「試練の時代の自治体経営」をテーマとした研修会が開催されました。少子高齢化や医療人材不足、診療報酬抑制により、全国的に病院経営が厳しさを増す中、総務省の方針は「改革」から「経営強化」へ転換しているとの説明がありました。

研修では、**病床規模の最適化**や**病院間の機能分担**、**特別交付税など制度活用**の重要性が示されました。

特に精神医療については、長期入院の是正と認知症等への機能転換が求められています。

議会としても、3病院体制のあり方を見直し、地域に必要な医療を将来にわたり持続可能とするため、具体的な議論を進めていく必要性を強く感じました。

【 3病院の目指すべき方向 】

○府中市民病院

急性期医療を無理に広げるのではなく、**高齢者医療・回復期医療を中心に地域連携を強化**する方向へ

○府中北市民病院

北市民病院を湯が丘病院と統合し、**新病院建設**を検討するという案が示されました。

○府中湯が丘病院（精神科）

これまで多かった統合失調症だけでなく、**認知症・うつ・児童思春期医療へ転換**する必要があります。**病床の見直し・設備更新**も求められます。

プロフィール

1963年1月生まれ
府中市出口町出身
趣味：読書・ギター 特技：神主
広谷小学校・第二中学校卒業
広島県立戸手商業高等学校 卒業
日々是好日「ENISHI」代表



2022年4月 府中市議会議員

初当選 1期4年目

- 厚生常任委員会 副委員長
- 議会運営委員会 ○広報広聴特別委員会
- 創生会



真田 さなだ
みつお

後援看板の設置に ご協力ください！

私の顔写真入りの立て看板を設置してくださる方を募集しています。「うちの敷地に立ててもいいよ」という方がいらっしゃいましたら、是非、ご協力をお願いいたします。

QRコードを読み取ってもっと身近に！



最新の議会報告や政策、イベント情報をスマホからすぐにご覧いただけます。このQRコードを写真に撮るだけで、すぐにアクセスできます。是非、一度ご覧いただき、応援の声をお寄せください。

真田みつお後援会事務所

〒726-0003 府中市元町 439-13
TEL:0847-45-2810 FAX:0847-44-6096
<https://www.sanadamitsuo.com/>
E-mail: magokoro@pear.ccjnet.ne.jp

令和7年 第4回 府中市議会定例会(12月) 一般質問「文化伝承について」

神社や仏閣の祭礼、伝統行事、芸能や風習など、地域には長い歴史の中で育まれてきた文化があります。しかし、高齢化や過疎化、担い手不足により、神社の無人化や祭礼の中止が進み、文化消滅の危機が高まっています。文化は人のつながりや心の豊かさを支える重要な役割を持つことから、支援基準やガイドラインを整備し、次世代へ継承していくことが必要だと考えます。



質問：文化伝承について市の考えを伺う

答弁：

本市では、第5次府中市総合計画において、文化活動の推進を重要な施策の一つと位置づけています。地域の伝統文化や市民の文化発表の場の充実を図り、関係団体と連携して文化芸術に触れる機会を確保しています。今年度は、県美術展巡回展の開催に加え、5年ぶりに府中市美術展を再開する予定です。今後も県民文化祭等を通じて、人材育成と次代の担い手確保につなげていく考えです。

質問：地域のお祭りや伝統行事・文化活動の継承に向けた市の考えや支援を伺う

答弁：

地域の祭りや文化活動は、住民同士のつながりを深め、地域を元気にし、活動を続けていく力になると考えています。市独自の補助金はないが、「コミュニティ助成事業」を活用し、地域文化の継承を支援しています。これまでに子供太鼓や祭り衣装の整備に活用され、一団体当たり最大250万円までの助成が受けられます。今後も地域と連携し、文化継承を支援していきたい。尚、担当窓口は、「地域づくり課」です。

一般質問「太陽光発電設備の現状把握と安全対策について」

国は、令和32年までにカーボンニュートラル実現と、2013年度比46%の温室効果ガス削減を目標に、再生可能エネルギーの導入を進めています。固定価格買取制度の開始以降、太陽光発電は全国で急速に普及したが、一方で、雑草管理や土砂災害の懸念、住民説明不足などのトラブルが全国の市町村で多発しています。こうした状況を受け、国は法改正により地域との共生や適正管理を重視する方針へ転換しました。市内でも設置が進む中、実態把握と対策が重要だと考えます。

質問：現状と苦情件数について伺う

答弁：

住宅用の太陽光発電（10キロワット未満）は申請が不要なため、市では設置数を把握していません。事業用については、規模に応じて国への届出が必要です。国の固定価格買取制度の登録データによると、市内では10キロワット未満が約6,000件、10～50キロワット未満が567件、50～500キロワット未満が12件、500キロワット以上が1件登録されています。太陽光発電設備の敷地で、雑草や樹木の繁茂による害虫や防犯面の不安について、令和7年11月末までに2件の相談がありました。市（環境衛生課）は、現地確認を行い、文書や連絡により所有者へ適切な管理をお願いしているが、法的規制がないためお願いベースでの対応となっています。

小野市長へ要望：

府中市は、全国に先駆けて独自の対策を進めるとともに、国や県に対し、未整備となっている太陽光発電設備の管理や防災ガイドラインの早期整備を強く働きかけ、市民に「安心と安全」を届けていただきたいと要望しました。



SANADA CHANNEL

@sanadamitsu - チャンネル登録者数 87人・282本の動画

このチャンネルの詳細...さらに表示

チャンネルをカスタマイズ 動画を管理



議会運営委員会 行政視察(11.13～14)

大阪府和泉市議会を視察し、議会改革と運営の取り組みについて学びました。和泉市議会は、議長直轄の「議会改革活性化会議」を中心に、開かれた議会やICT活用による効率化など、小さな改善を積み重ねて改革する姿勢が特徴でした。特にUDトークやヒアリンググループの導入により、聴覚障がい者や外国人市民への情報保障を充実していました。また、インターネット配信や電子採決などICT活用により、議会の見える化と透明性向上にも取り組まれていました。府中市議会においても、誰もが参加しやすい、分かりやすい議会運営をできることから着実に改善を進める重要性を再認識しました。



京都府精華町議会を視察し、議会運営と改革の取り組みを学びました。精華町議会は「まず、やってみよう」を合言葉に、前例にとられない改革を推進しています。議会基本条例に町民参加や情報公開を位置付け、委員会再編や通年議会、委員会代表質問の導入により、政策提言力とチェック機能を強化していました。さらに、まちカフェやアンケートなど多様な住民参加の工夫などが、議会への信頼向上につながっていました。府中市議会においても、住民参加と議会機能強化の面で大いに参考となる視察でした。